

### 実践栄養学科における学習目標

実践栄養学科は、人が食べる営みを通じて健康を保持・増進する、あるいは疾病の予防や疾病からの回復によって生活の質が向上することを目的とした実践栄養学の教育と研究を目指している。そして教育や研究で得た専門的な知識や技能を活かして、管理栄養士として社会で活躍する人材の育成を行っている。

管理栄養士の能力を培うためには、社会・環境と健康との関わり、食べ物と健康の関わり、人体の構造と機能や疾病の成り立ちを理解し、その上で、臨床栄養や公衆栄養、給食経営管理論などの専門知識を習得しなければならない。また、その知識を生かす上では、何をどれだけ、どのように食べるのかを料理や食事として表現し、自らの生活で実践していくことが必要となる。さらには、食事サービスや栄養教育を通じて、健康な人から病気の人、障がいがある人、介護を必要とする人、あるいは乳児から高齢者までの様々なライフステージの人々、妊娠期や授乳期にある人、アスリートのように特別な体づくりが必要な人など、個人、対象集団に対して、適正な食生活を普及、支援することが社会への貢献につながる。

管理栄養士の活躍の場は、病院や高齢者施設など医療・福祉の場、保育園、学校、職域、地域などの保健の場があり、また行政、給食施設、食品産業などをはじめとし、食に関わる幅広い分野にある。いずれの場でも他職種と協働して活動することが求められる。その中で専門性を発揮するためには、コミュニケーション力や自ら課題を発見しそれを解決する力が求められる。

管理栄養士は、高度で幅広い知識と技術を持って社会で活躍する専門職である。管理栄養士として、どのように社会に貢献したいと思うか、将来のなりたい自分像を描きながら、自分自身の学習目標を立てて学ぶ姿勢が大切である。

### 教育課程の編成方針（カリキュラム・ポリシー）

〈教育内容〉

#### 1. 高大接続と広い視野を養う教育科目

- ①能動的な学びを身につけるための科目を、初年次教育として1年次に配置する。
- ②栄養学を学ぶうえでの基礎的な知識、豊かな人間性と社会性、コミュニケーション能力を身につけるため、人文科学・社会科学・自然科学・外国語の各分野から構成される選択科目群を配置する。

#### 2. 体系的な専門基礎及び専門科目の配置

- ①本学の食事法を自ら実践できるようになるための科目を、1年次に配置する。
- ②栄養と健康に関わる理論と実践を身につけるため、管理栄養士学校指定規則に定められた3分野からなる専門基礎科目群と8分野からなる専門科目群を段階的に配置する。

#### 3. 講義と実習、演習を組み合わせた実践的教育体系

- ①食事づくり力を含めた栄養管理の理論と実践を修得するため、各分野に講義と実験・実習・演習科目を段階的に配置する。
- ②管理栄養士業務の実際を学び、専門職としての視点と能力を身につけるため、臨地実習を3年次後期に配置する。

#### 4. 専門領域を意識づけして深める教育

- ①管理栄養士に求められる倫理観や使命感を養う専門科目を低学年から段階的に配置する。
- ②学内外の実習等を通し、専門性をより深める選択科目としてプロフェSSIONAL科目（医療栄養系、

福祉栄養系、地域栄養・食支援系、スポーツ栄養系、フードサービスマネジメント系、食品開発系)を、3年次後期から4年次に配置する。

③栄養教諭免許取得を目指す学生に対しては、児童及び生徒の食に関する指導をより深める教職科目を段階的に配置する。

#### 5. 総合化を促す科目の配置

①課題発見・解決能力、プレゼンテーション能力等、管理栄養士として必要とされる技能を高め、4年間の学びを総合的に活用する科目を4年次に配置する。

②科学的・論理的思考力を養い、生涯にわたり自らの専門性を向上させるための学修能力を身につける卒業研究を、3年次後期から4年次に配置する。

#### 〈教育方法〉

1. 講義と演習・実験・実習との往還や一貫性による知識の定着化や技術の修得
2. グループ討議を通じた課題解決型の学びによるコミュニケーション力の育成
3. プレゼンテーション・質疑応答形式による理論の構築や応用力の育成
4. 医療施設、福祉施設、学校、自治体、事業所等での学外実習を通じた管理栄養士としての実践力の修得と、倫理観、使命感、責任感の定着
5. プロフェッショナル科目による管理栄養士としての技能と専門性の強化
6. 学生への支援体制 (担任制度、スチューデントアシスタント (SA) 制度)

#### 〈評価〉

1. 外部委託した学士力調査により、1年次から3年次への成長を把握する。
2. 各授業における成績評価は、シラバスに明記された方法で行う。
3. 2年及び3年次終了時には、学則に定める進級制度により3年及び4年次への進級の可否を判断する。
4. 進級の可否は、各学年で必要とされる単位数あるいは管理栄養士国家試験受験資格必修科目の取得により判断する。
5. コミュニケーション能力や倫理観等の自己目標の達成についての評価は、履修カルテとe-ポートフォリオで行う。
6. 管理栄養士としての総合的な能力は、管理栄養士実践演習及び管理栄養士総合演習の成績により判断する。

### プロフェッショナル科目群の学習について

管理栄養士の社会的ニーズを視野に入れ、さらに、実践栄養学科の卒業生としての管理栄養士が活躍する職務を考慮し、本学科では6つの系に分類したプロフェッショナル科目群を置いている。各系2科目の講義と1科目の実習を配置し、その専門を深く学習できるように構成している。履修は3年生前期からスタートする。学習方法には次の2通りがある。

1. 一つの系に帰属する (系の講義科目と実習科目を履修する)。
2. 系に帰属しないで複数の系の講義科目を自由に履修し、実習は履修しない。

講義科目は自由に選択できるが、実習は系に帰属しなければ履修できない。また1の場合も他の系の講義科目は自由に履修できる。なお、系への帰属の決定は、3年次後期とする。講義科目の履修に際しては実習を考慮して選択することが必要である。

### プロフェッショナル科目群

#### 医療栄養系 (臨床栄養系)

生活習慣病の予防から各疾患の治療手段としての的確な臨床栄養管理ができる能力を養うことを目標とする。患者の栄養状態の評価・判定、栄養・食事計画、臨床栄養指導の実際および療養生活の支援を医療

の場で学び、医療に携わる専門職の価値観やチーム医療の一員としての資質を養う。

### 福祉栄養系

要介護者および障害者（児）に対して、食生活支援を行なう上での栄養管理の知識や技術を深めることを目標とする。要支援、要介護レベル、障害のレベルに対応した栄養アセスメント、栄養ケア計画、さらに食べる楽しみを提供できるような食事の調整方法などを、学内および施設や在宅サービスの現場での実習を通じて学ぶ。

### 地域栄養・食支援系

地域で生活する人々の健康とQOL（生活の質）の向上のために、栄養・食生活支援や食育の実践力向上を目標とする。生活背景や地域環境を考慮して、栄養・食生活の個別指導力（カウンセリング力）の向上や健康危機管理時における他職種連携や栄養・食生活支援コーディネート力の向上、その実現のための地域の健康・栄養政策立案の基本的手法を、学内の講義と現場での体験学習を通じて学ぶ。

### スポーツ栄養系

管理栄養士の知識を基に、スポーツと栄養のかかわりを学び、基礎からトップアスリートまでを視野に入れた栄養サポートを目標とする。スポーツ選手を対象とした栄養アセスメント（食事調査、身体計測、その他各種検査など）の方法、食事計画について実習を通じて学ぶ。

### フードサービスマネジメント系

多数の人々の健康や嗜好を考え、それに合わせた食事提供を行うために、新しい食材、調理方法を学び、設備や調理技術に応じた食事提供を適正な費用で、そして安全に行うためのマネジメント力の向上を目標とする。食事サービスのコンセプトを設定し、給食運営の実際を実習する。

### 食品開発系

新しい生理機能を持つ食品の開発、食べる人のライフスタイルや好みに合った健康に良い食品・メニューの開発ができる管理栄養士を目指して学修する。学内実習または学外協力施設との連携実習（学内で行うこともある）を通して、市場調査、メニュー開発および試作、食品関連企業への商品提案など、幅広い知識と実践力を養う。なお、実習内容は配属先により異なる。

## **栄養教諭について**

実践栄養学科では、選択によって栄養教諭一種免許を取得することができる。栄養教諭は、小学校、中学校における給食の管理を行なうと共に、児童生徒の食に関する指導の中心となる専門職である。栄養と教育に関する専門性と資質を併せ持つ教員を養成する。

## **●卒業および資格取得に必要な科目の単位について**

実践栄養学科では学生が学習をスムーズに、また効果的に進められるように以下のような科目を配置している。各科目は、「卒業必修科目」（卒業要件として必ず履修し、単位を取得しなければならない科目）と「選択科目」に分かれており、更に「選択科目」は、下記のように①管理栄養士国家試験受験資格取得のための必修科目（以下、「管理栄養士資格必修科目」と略す）、②管理栄養士国家試験受験資格のための必須科目（以下、「管理栄養士資格必須科目」と略す）、③自由選択科目の3種類に分類される。

## □選択科目の種類

### ①管理栄養士資格必修科目

栄養士法施行令および管理栄養士学校指定規則に基づく所定の科目。卒業必修科目ではないが、管理栄養士国家試験受験資格を取得するためには必ず単位を修得しなければならない科目。

### ②管理栄養士資格必須科目

管理栄養士国家試験受験資格を取得するために、学習効果を高める目的で学科として設置されている科目であり、実践栄養学科の学生は履修する科目。

### ③自由選択科目

自由に選択して履修する科目

【卒業に必要な単位】は、「卒業必修科目」の単位を含めて合計124単位以上である。また、「卒業必修科目」には「基礎・教養科目」の履修単位も含まれ、人文科学分野、社会科学分野、自然科学分野、外国語分野から、それぞれ6単位、計24単位以上修得しなければならない。

実践栄養学科は、管理栄養士国家試験受験資格を取得して卒業することが原則である。そのためには、「管理栄養士資格必修科目」の単位の修得も必要になる。

栄養教諭一種免許状の取得を希望する学生は、【卒業に必要な単位】および「管理栄養士資格必修科目」の単位を修得の上、「栄養教諭必修科目」の単位の修得が必要になる。

## 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

実践栄養学科では、栄養学の知識・技術を、人々の健康の維持・増進のために活用し、生涯に渡って広く社会に貢献する意欲のある人材を育成する。以下に掲げる能力を身につけ、4年以上在籍し、所定の単位を取得した学生に学士（栄養学）の学位を授与する。

（知識・理解）

1. 栄養学の基礎的な知識・技術を修得し、本学の食事法を自ら実践できる。
2. 人々の健康の維持・増進、疾病の予防・治療における食と栄養の役割を理解している。

（汎用的能力と専門的技術・実践力）

3. 対象の課題を診断し、食事づくり力等を生かして栄養管理を実践できる。
4. 多様な価値観や社会的背景を理解し、円滑なコミュニケーションを図ることができる。

（倫理観・使命感・社会的責任）

5. 管理栄養士に求められる倫理観や使命感、責任ある行動について理解している。
6. 人々のQOL向上のために、健康の維持・増進、疾病の予防・治療に貢献する意欲がある。

（総合力と生涯学習力）

7. 大学での学びを総合的に活用し、社会において栄養学を実践する意欲がある。
8. 管理栄養士としてのキャリアを積み重ね、生涯に渡り学び続ける意欲がある。

1年から4年次までの学習を進める間にも、栄養学研究は進歩し、また人々の健康・栄養問題も変化する。これにより、医療・保健・福祉および栄養に関する政策・制度は短い時間の中で更新され、さらに統計データも変更されている。また、社会が期待する管理栄養士の資質も高度化している。したがって、最終学年において、あらたな知識を補うための総合的な科目、さらには、それまでの学習の達成度を確認する科目を配置し、管理栄養士国家試験受験に向けて総仕上げを行なう。

実践栄養学科 カリキュラムの組み立て【2022・2023年度入学生】

	1 年		2 年		3 年		4 年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人文分野	人文科学概論 選2 文化論 選2 食文化論 選2	哲学 選2 文学 選2 心理学 選2 文化人類学 選2	美学 選2 文化芸術論 選2	社会心理学 選2				
社会科学分野	社会科学入門 選2 ジェンダー・セクシュアリティ論 選2 地理学 選2	社会学 選2 教育学 選2 経済学 選2	歴史学 選2 日本国憲法 栄教必2					
自然科学分野	自然科学入門 選2 化学 選2 生物学 選2	数学 選2	環境生態学 選2 物理学 選2					
外国語	英語 I 選2 ドイツ語 I 選2 フランス語 I 選2 中国語 I 選2	英語 II 選2 ドイツ語 II 選2 フランス語 II 選2 中国語 II 選2	英語 III 選2 ドイツ語 III 選2 フランス語 III 選2 中国語 III 選2	外国語コミュニケーション 栄教必2				
社会健康環境と	健康づくり運動処方演習 I 必1	健康づくり運動処方演習 II 栄教必1 公衆衛生学 I (公衆衛生の基礎) 必2 情報処理基礎実習 栄教必1	公衆衛生学 II (公衆衛生の展開・活動) 管必2	疫学・生物統計学 必2	健康情報処理・活用実習 管必1			
能立疾病の成り	理学的化学的基礎 必1 栄養生理学 (運動生理学を含む) 必2	解剖生理学 必2 臨床医学総論 (感染症を含む) 管必2 生化学 必2 生化学基礎実験 必1	解剖生理学実習 必1 分子栄養学 (免疫学を含む) 必2 栄養学実験 必1 臨床医学各論 I 必2	臨床医学各論 II 必2 栄養生化学実験 管必1				
健康食物と	食品学総論 必2 基礎調理学実習 必1	食品学各論 (食品加工学を含む) 必2 調理学 必2 応用調理学実習 必1	調理・加工実験 必1 食品衛生学実験 必1 実践調理学実習 選1 食品衛生学 必2	食品機能学 選2 食品化学実験 必1 食品栄養学実験 選1				
栄養基礎分野	実践栄養学 必2 基礎栄養学 必2		栄養アセスメント基礎実習 必1					
応用栄養分野		栄養・食事管理論 (アセスメント論を含む) 必2 食事摂取基準論 必2	ライフステージ栄養学 必2	ライフステージ栄養・食事管理実習 必1				
栄養教育分野			栄養教育基礎論 必2	栄養教育実践論 必2 栄養教育技術論 管必2	栄養教育論実習 必1			
臨床栄養分野				臨床栄養学 必2	臨床栄養管理論 I 必2 臨床栄養管理論 II 必2 臨床栄養管理論実習 必1	臨床栄養教育論 必2 臨床栄養教育論実習 管必1		
公衆栄養分野				公衆栄養学 必2	地域栄養活動論 管必2	地域栄養計画実習 管必1		
給食管理分野			給食管理論 必2	給食管理実習 必1 給食経営管理論 管必2	給食経営管理実習 管必1			
習合演習					管理栄養士活動実習 (臨地実習事前事後教育) 選2 (通年)	管理栄養士実践演習 管必1	管理栄養士総合演習 管必1	
習地実習						臨地実習 I (校外実習) 管必1 臨地実習 II 管必3		
医療系					看護・介護論 選2		臨床栄養活動論 選2 臨床栄養実習 選1 (通年)	
福祉系							福祉栄養活動論 選2 福祉栄養実習 選1 (通年)	
地域栄養・食支援系						地域栄養教育論 選2	地域栄養・食政策論 選2 地域栄養教育実習 選1 (通年)	
スポーツ・リハビリ系					スポーツ概論 選2		スポーツ栄養学 選2 スポーツ栄養実習 選1	
栄養マネジメント系						給食マネジメント論 選2	給食システム論 選2 フードサービスマネジメント実習 選1	
開発系					マーケティング論 選2 食品開発論 (品質管理論を含む) 選2		食品開発実習 選1	
総合分野	実践栄養学特論 I (読書) 必1 実践栄養学特論 II (初年次教育プログラム) 必1		管理栄養士プロフェッショナルリズム論 I 必1			管理栄養士プロフェッショナルリズム論 II 管必須1	実践栄養学特論 III (国試対策1) 管必須2 実践栄養学特論 VI (栄養教諭採用試験対策) 選2 実践栄養学特論 V (国試対策3) 選2	実践栄養学特論 IV (国試対策2) 管必須2 実践栄養学特論 V (国試対策3) 選2
論栄養教					栄養教諭論 栄教必2	栄養教諭論実践研究 栄教必2		
栄教職専攻			教職論 栄教必2	教育原理 (教育の社会的事項及び地域連携、学校安全を含む) 栄教必1 教育課程論 栄教必1 発達と学習の心理学 栄教必2 教育方法及び技術 (栄養教諭) 栄教必1	道徳教育論 (栄養教諭) 栄教必1 特別活動論 栄教必1 生徒指導論 I 栄教必1 特別支援教育論 栄教必1 (栄養教諭) 総合的な学習の時間の指導法 栄教必1	栄養教諭教育実習指導 栄教必1 (通年) 栄養教諭教育実習 栄教必1 (通年)	総合講座 必2 (通年) 演習 選2 (通年) 卒業研究 選4 (通年)	
共通科目	共通特論 II (家庭料理技能検定) 選2 共通特論 IX (アウト・ドア) 選2 共通特論 XIV (英語 e-learning) 選2 共通特論 XIX (キャリア講座3) 選2	共通特論 III (農園体験) 選2	共通特論 V (英語アドバンスクラス I) 選2 共通特論 XIII (教育史) 選2 共通特論 XV (英語アドバンスクラス II) 選2 共通特論 XVI (栄養学の背景に関する英語による講義) 選2 共通特論 XVII (キャリア講座1) 選2 共通特論 XVIII (キャリア講座2) 選2	共通特論 VI (公務員採用試験対策入門講座) 選1				

※凡例：「必」＝卒業必修単位、「選」＝選択単位、「管必」＝選択科目中の管理栄養士国家試験受験資格取得必修単位、「管必須」＝管理栄養士国家試験受験資格のための必須科目、「栄教必」＝選択科目中の栄養教諭取得必修単位。

注) 開講科目および開講時期は変更されることもある。

実践栄養学科 カリキュラムの組み立て【2020・2021年度入学生】

	1 年		2 年		3 年		4 年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人文分野	人文科学概論 選2 文化論 選2 食文化論 選2	哲学 選2 文学 選2 心理学 選2 文化人類学 選2	美学 選2 文化芸術論 選2	社会心理学 選2				
社会科学分野	社会科学入門 選2 ジェンダー・セクシュアリティ論 選2 地理学 選2	社会学 選2 教育学 選2 経済学 選2	歴史学 選2 日本国憲法 栄教必2					
自然科学分野	自然科学入門 選2 化学 選2 生物学 選2	数学 選2	環境生態学 選2 物理学 選2					
外国語分野	英語 I 選2 ドイツ語 I 選2 フランス語 I 選2 中国語 I 選2	英語 II 選2 ドイツ語 II 選2 フランス語 II 選2 中国語 II 選2	英語 III 選2 ドイツ語 III 選2 フランス語 III 選2 中国語 III 選2	外国語コミュニケーション 栄教必2				
社会健康環境と	健康づくり運動処方演習 I 必1	健康づくり運動処方演習 II 栄教必1 公衆衛生学 I (公衆衛生の基礎) 必2 情報処理基礎実習 栄教必1	公衆衛生学 II (公衆衛生の展開・活動) 管必2	疫学・生物統計学 必2	健康情報処理・活用実習 管必1			
能人の立ち成り	理学的化学的基礎 必1 栄養生理学 (運動生理学を含む) 必2	解剖生理学 必2 臨床医学総論 (感染症を含む) 管必2 生化学 必2 生化学基礎実験 必1	解剖生理学実習 必1 分子栄養学 (免疫学を含む) 必2 栄養学実験 必1 臨床医学各論 I 必2	臨床医学各論 II 必2 栄養生化学実験 管必1				
健康食べ物と	食品学総論 必2 基礎調理実習 必1	食品学各論 (食品加工学を含む) 必2 調理学 必2 応用調理実習 必1	調理・加工実験 必1 食品衛生学実験 必1 実践調理実習 選1 食品衛生学 必2	食品機能学 選2 食品化学実験 必1 食品栄養学実験 選1				
栄養基礎分野	実践栄養学 必2 基礎栄養学 必2		栄養アセスメント基礎実習 必1					
応用栄養分野		栄養・食事管理論 (アセスメント論を含む) 必2 食事摂取基準論 必2	ライフステージ栄養学 必2	ライフステージ栄養・食事管理実習 必1				
栄養教育分野			栄養教育基礎論 必2	栄養教育実践論 必2 栄養教育技術論 管必2	栄養教育論実習 必1			
臨床栄養分野				臨床栄養学 必2	臨床栄養管理論 I 必2 臨床栄養管理論 II 必2 臨床栄養管理論実習 必1	臨床栄養教育論 必2 臨床栄養教育論実習 管必1		
公衆栄養分野				公衆栄養学 必2	地域栄養活動論 管必2	地域栄養計画実習 管必1		
給食管理分野			給食管理論 必2	給食管理実習 必1 給食経営管理論 管必2	給食経営管理実習 管必1			
習合演習					管理栄養士活動実習 (臨地実習事前事後教育) 選2 (通年)	管理栄養士実践演習 管必1	管理栄養士総合演習 管必1	
習地実習						臨地実習 I (校外実習) 管必1 臨地実習 II 管必3		
プロフェッショナル科目群	医療系 福祉系 地域栄養・食支援系 スポーツ・アスリート栄養系				看護・介護論 選2		臨床栄養活動論 選2 臨床栄養実習 選1 (通年) 福祉栄養活動論 選2 福祉栄養実習 選1 (通年) 地域栄養教育論 選2 地域栄養・食政策論 選2 地域栄養教育実習 選1 (通年)	
開発系					スポーツ概論 選2	給食マネジメント論 選2	スポーツ栄養学 選2 スポーツ栄養実習 選1 給食システム論 選2 フードサービスマネジメント実習 選1	
情報系					情報提供論 選2 食品開発・品質管理論 選2		食品・メニュー開発実習 選1	
総合分野	実践栄養学特論 I (初年次教育プログラム) 必1		管理栄養士プロフェッショナルリズム論 I 必1			管理栄養士プロフェッショナルリズム論 II 管必1	実践栄養学特論 II (国試対策1) 管必須2 実践栄養学特論 V (栄養教諭採用試験対策) 選2 実践栄養学特論 IV (国試対策3) 選2 総合講座 必2 (通年) 演習 選2 (通年) 卒業研究 選4 (通年)	実践栄養学特論 III (国試対策2) 管必須2 実践栄養学特論 IV (国試対策3) 選2
栄養教育論					栄養教諭論 栄教必2	栄養教諭論実践研究 栄教必2		
栄養教育専攻			教職論 栄教必2	教育原理 (教育の社会的事項及び地域連携、学校安全を含む) 栄教必1 教育課程論 栄教必1 発達と学習の心理学 栄教必2 教育方法及び技術 (栄養教諭) 栄教必1	道徳教育論 (栄養教諭) 栄教必1 教育課程論 栄教必1 教育相談 I 栄教必1	特別活動論 栄教必1 生徒指導論 I 栄教必1 特別支援教育論 栄教必1 (栄養教諭) 総合的な学習の時間の指導法 栄教必1	栄養教諭教育実習指導 栄教必1 (通年) 栄養教諭教育実習 栄教必1 (通年) 教職実践演習 (栄養教諭) 栄教必2	
共通科目	共通特論 I (読書) 選1* 共通特論 IX (アウト・ドア) 選2 共通特論 XIV (英語 e-learning) 選2	共通特論 II (家庭料理技能検定) 選2 共通特論 XI (各種海外研修) 選2 共通特論 XV (英語アドバンスクラス II) 選2 共通特論 XIX (キャリア講座3) 選2	共通特論 III (農園体験) 選2 共通特論 XVI (栄養学の背景に関する英語による講義) 選2	共通特論 V (英語アドバンスクラス I) 選2	共通特論 VI (公務員採用試験対策入門講座) 選1 共通特論 VII (キャリア講座1) 選2 共通特論 VIII (キャリア講座2) 選2			

※凡例：「必」=卒業必修単位、「選」=選択単位、「管必」=選択科目中の管理栄養士国家試験受験資格取得必修単位、「管必須」=管理栄養士国家試験受験資格のための必須科目、「栄教必」=選択科目中の栄養教諭取得必修単位、\* =卒業の要件となる単位とし、必ず履修すること。  
注) 開講科目および開講時期は変更されることもある。